

養牛部 (神奈川県立相原高等学校)

神奈川県
活動期間：11年

食を通じて大きな学びを～農と人をつなぐ架け橋～

相模原の立地を活用したあいほら牧場の開催

相原高校養牛部では、日々、乳牛や肉牛の飼養管理、野菜の栽培、さらには農産物の販売に取り組んでいます。「農業や相模原を盛り上げたい」という強い思いを持ち、地域社会に貢献できる活動を目指しています。特に、本校の立地を最大限に活用したあいほら牧場は、地域の方々や協同病院の方々を対象に農業体験を実施しています。このプログラムでは、参加者が実際に牛に触れたり、餌を与えたりすることによって、癒しや安らぎを提供しつつ農業の魅力を実感できます。地域の皆さまにとって、貴重な経験が深く心に刻まれ、農業への理解や関心を高めるきっかけとなっています。また、交流を深めるだけでなく、農業を通じて生まれる様々な体験が、子どもたちや大人たちにとっての成長と学びの場になっていることに喜びを感じています。このようにして、相原高校養牛部は今後も地域の皆さまとともに歩み、農業の未来を支えていきたいと考えております。



牛とのふれあい体験



乳しぼり体験

出張！あいほら牧場

私たちは、より多くの人に農業の魅力を広め、規模を拡大することを目指しています。その一環として、相原高校を飛び出し、近隣の観光牧場と連携した食育活動を継続的に開催しています。毎月、牧場を訪問して、酪農や乳製品の製造過程についての授業を行っています。この教育プログラムでは、参加した生徒たちが実際の現場で体験することに重点を置き、牛の世話や搾乳、乳製品の加工を見学する機会も設けています。これにより、農業の重要性や食の大切さを実感し、理解を深めることができるようになっていきます。この取組を通じて、農業に対する興味を持つ人が増え、未来の農業を担う人材の育成に寄与できることを期待しています。



牛について学ぼう



ミルカー体験

保育園と小学校との出前授業と 農業体験「食と農を学ぶ」

今年で4年目を迎える保育園との交流は、夏・秋・冬の各季節に開催しており、それぞれ異なる体験を通じ、子どもたちが季節ごとの自然や農業の変化を感じながら、楽しむことができます。また、小学3年生と6年生を対象に大根の播種から収穫までを実践し、家畜に関する授業も行っています。この活動を通じて、食べ物大切にすることの気持ちや、農業に対する興味や理解を深めることができ、多くの子どもたちが成長の喜びを感じています。



小学校にて出前授業



保育園児とのサツマイモ掘り



乳しぼり体験



この度は、このような賞を受賞できましたことを、大変光栄に存じます。地域の方々や連携先の皆さまなど、関連するすべての方々のご支援により、私たちは活動を行うことができましたことに、心より感謝申し上げます。今後も、食や仕事、命についての学びを伝える機会を増やしていきたいと考えております。そして、生産から消費に至るまでの食に関する体験活動を実施し、より多くの方々に農業の魅力や大切さを感じてもらえるよう努力してまいります。

神奈川県立相原高等学校 養牛部 一同